

科目名	災害情報工学 Disaster Information Technology	科目コード	A3210
-----	---	-------	-------

学科名・学年	環境都市工学専攻・2年（プログラム4年）
担当教員	塩野 計司（環境都市工学科）
区分・単位数	選択・2単位
開講時期・時間数	前期，30時間【内訳：講義26，演習4，実験0，その他0】
教科書	なし
補助教材	自作配布物
参考書	なし

【A．科目の概要と関連性】

震災を主なテーマとし，風水害・雪害などにも言及しながら，災害対策を効率化・最適化するための情報の収集・処理・伝達の方法と，対策資源を整備・活用するための情報の利用法について学習する．また，防災対策を立案するための基礎調査となる被害予測を取り上げて，その位置づけ・実施方法・利用方法について学習する．

関連する科目： 防災計画+景観工学（学科5年（プログラム2年）で履修）

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(D)と主体的に関わる．

この科目の到達目標と，成績評価上の重み付け，各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す．

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
災害対策における情報の種類と役割を理解する．	25%	(D1)
災害情報の収集方法と伝達方法を理解する．	25%	(D1)
被害調査の方法を理解する．	25%	(D1)
被害予測の方法と役割を理解する．	25%	(D1)

【C．履修上の注意】

受講者は，各回の授業から1週間以内（次回の授業の始まりまで）に，授業の内容を整理したレポートを提出してください．各回のレポートはA4版の用紙で1ページ以内とします．期限内に提出されたレポートには検印を押し，試験での持ち込み資料とすることを許可します．

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する．60点以上を合格とする．

定期試験（100%） その他の試験（0%） レポート（0%） その他（0%）

【E. 授業計画・内容】

前期

回	内容	課題
1	災害対策における情報の役割（概説 = 導入）	講義内容を要約したレポートの作成
2	震災対策の情報（1）予防対策	講義内容を要約したレポートの作成
3	震災対策の情報（2）応急対策（1）	講義内容を要約したレポートの作成
4	震災対策の情報（3）応急対策（2）	講義内容を要約したレポートの作成
5	震災対策の情報（4）復旧・復興対策（1）	講義内容を要約したレポートの作成
6	震災対策の情報（5）復旧・復興対策（2）	講義内容を要約したレポートの作成
7	風水害対策の情報（1）	講義内容を要約したレポートの作成
8	風水害対策の情報（2）	講義内容を要約したレポートの作成
9	雪害対策の情報	講義内容を要約したレポートの作成
10	地震被害の調査方法（1）	講義内容を要約したレポートの作成
11	地震被害の調査方法（2）〔演習〕	講義内容を要約したレポートの作成
12	地震被害の予測（1）位置づけと方法	講義内容を要約したレポートの作成
13	地震被害の予測（2）〔演習〕	講義内容を要約したレポートの作成
14	まとめ	
-	前期末試験	試験時間：80分
15	試験解説と発展授業	